サイバーインシデント演習 *in* 仙台

セキュリティのインシデント対応を体験しませんか？

開催の目的

　中小企業は、サプライチェーンの最前線を担い、多くの取引先や関連企業と日々やり取りを行っており、サイバー攻撃を受けた場合に備えて、社内で意識を持ち、体制を構築した上で、セキュリティインシデント発生時の対応方法や手順などを共有しておくことが重要です。
　そこで、最近のサイバーセキュリティインシデントの発生状況や、被害拡大を最小限にとどめるための基本的事項を説明し、擬似的なインシデントの対応を体験することにより、発生時の対応手順や組織内の基本方針などを考えていただくことを目的として「サイバーインシデント演習」を開催します。

主催

総務省東北総合通信局
東北地域サイバーセキュリティ連絡会

開催概要

2025年11月4日(火)　13:30~17:30
（13:00受付開始）

トラストシティカンファレンス・仙台
Room2+3+4
(宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー5階)
(JR仙台駅 徒歩9分/JRあおば通駅 徒歩8分/地下鉄南北線 仙台駅 徒歩6分/地下鉄東西線 青葉通一番町駅 徒歩7分)

中小企業／団体等の経営層、
セキュリティ責任者及び情報システム運用担当者の方等

定員：40名
※定員に達し次第、受付を終了いたします

参加費無料

Cyber incident exercise

プログラム

第１部サイバーセキュリティ講演 ［13:30～14:30］

■「サイバー攻撃の情勢及び対応策について」
昨今話題となっているインシデント事例などを紹介しながらサイバー攻撃による被害拡大を最小限にとどめるインシデント対応の流れを解説します。

第２部・第3部サイバーセキュリティ演習 ［14:30～17:30］

■「セキュリティ事件・事故発生時の効果的な対応について」
第1部の内容を踏まえ、参加者によるグループワークを実施します。
第2部では実機演習として、グループごとに配したパソコンを使用してインシデントとなりうるリスクを擬似体験して、意図しない情報漏洩がどのように起きるのか、また不正なサイトからどのように情報が盗まれるのかについて理解を深めます。
第3部では机上演習として疑似的なインシデント対応を体験いただき、インシデント発生から対応の検討、評価までのサイクルを、参加者が互いにディスカッション・意思決定しながら進めていく形をとります。

※本演習に参加される皆様同士でぜひ名刺交換いただければと存じます。（必須ではございません）
※これまでに実施した演習とは異なる新規のテーマで実施いたします。
※当日は名刺をご持参いただくことをお勧めいたします。
※講演・演習は日本語で行います。

講師

川口 洋 氏
株式会社川口設計
代表取締役

2002年 大手セキュリティ会社にて社内のインフラシステムの維持運用業務ののち、セキュリティ監視センターに配属
2013年～2016年 内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)に出向。行政機関のセキュリティインシデントの対応、一般国民向け普及啓発活動などに従事。
2018年 株式会社川口設計 設立。Hardening Projectの運営や講演活動など、安全なサイバー空間のため日夜奮闘中。

お申込み

上記二次元コードまたは以下の
申込URLよりお申込みください。
https://www.kiis.or.jp/form/?id=247

[申込期限]2025年10月28日(火)まで

お問い合わせ

●演習全般について
総務省東北総合通信局 サイバーセキュリティ室
022-221-0626
cybersecurity_toh@soumu.go.jp

●お申込みについて
一般財団法人関西情報センター
イノベーション創出支援グループ
06-6809-2142
rstaff@kiis.or.jp

※本イベントの申込受付及びご案内等は、
請負事業者である一般財団法人関西情報センター（KIIS）が行います。

Cyber incident exercise